

子どもの人権を考えよう
- 子どもの虐待防止に向けて -

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も開倫塾の時間を聞いていただきありがとうございます。この開倫塾の時間というのは 21 年前から始まった番組で、勉強の仕方やこれから世の中でどんなことが起こるのか、今、起きているのかについてお話をする番組です。対象は受験生のみなさんもありますけれども、社会人の方、社会に出て働く方も対象にしていますので、よろしくお聞き下さい。おかげさまで 21 年目になりました。毎週毎週お話をさせていただいて、非常に私も光栄に存じます。

2. 子どもの人権を考えよう - 子どもの虐待防止に向けて -

(1) 今週は、12 月 10 日は、皆さんご存知かもしれませんが世界の人権デーで、人権週間の最後の日です。国際連合は、昭和 23 年に「世界人権宣言」を採択しました。1950 年の第 5 回総会において、「世界人権宣言」を採択された 12 月 10 日を、世界人権デー、人権の日と決めました。そして、全ての加盟国にこれを記念する行事を実証することを呼びかけているわけですね。

(2) 日本では、法務省と全国人権擁護委員会連合会が、昭和 24 年から毎年 12 月 10 日の人権デーを最終日として、今年の場合は 12 月 4 日から 10 日までの一週間を人権週間と定め、人権を大事にしよう、人権思想の尊重の考え方を普及しましょうということで、いろいろな啓発活動を全国的に展開しているそうであります。栃木県でもかなり頻繁にやられていて、ちょうど今日あたりがなか日であと 3 日ですので、皆さんもずいぶん人権週間についてお聞きしているかと思えます。

(3) 私は、たまたま先週の金曜日、11 月 30 日に、私の所属する東京キワニスクラブでオレンジリボンのお話をお聞きしました。児童虐待防止全国ネットワークが児童の虐待を止めるためのオレンジリボンの運動をやっております。やはり、人権の中にもいろいろな人権に対する取り組みがあると思います。女性の人権を守ろうとか、高齢者を大切に作る心を育てよう、障害のある人々の完全な参加と平等を実現しよう。出生による差別をなくそう。アイヌの人々に対する理解を深めよう。外国人の人権を尊重しよう。HIV 感染者の皆さんに対する偏見をなくそうとか、いろ

いろいろな人権があると思います。この他にも、刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう、犯罪の被害者とその家族の人権に配慮しよう、インターネットを悪用した人権侵害を止めよう、ホームレスの方に対する偏見をなくそう、性的な嗜好を理由とする差別をなくそう、北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めようとか、いろいろな人権についての取り組みがあります。皆様がちょっと考えただけでも「こんなことはなくそうね」とか、「こんなことを進めよう」などと人権に関係あることはたくさんあると思います。その中で一番大切なことの1つは、子供の人権を守ろうということだと思います。このオレンジリボンの活動では、子供の虐待防止に向けていろいろな活動をしています。そのお話をたまたまお聞きしました。話ししてくれたのは、椎名あつこ様という方で、栃木県の足利市にお住まいの方ですが、私も足利に住んでいますが、たまたま東京で、初めてお会いしました。その方は、児童虐待防止全国ネットワークの理事もなさったり、オレンジリボンの運動を一所懸命やっいらっしゃいますので、子供の虐待防止についてお聞きしました。子供の虐待には4つあるそうです。身体的な虐待、タバコをこめかみや手に押し付けたりして虐待する人もいるそうです。性的な虐待もあるようです。また、ネグレクトと言いまして、養育の放棄のことですが、食事を与えなかったり、衣服を替えさせなかったりという虐待もあるようです。あとは心理的な虐待があります。この4つの虐待があるそうです。この虐待に対してどんなふうに社会は取り組んだらいいのかということをお聞きしました。やはり、子供の成長と発達を支援することが、社会全体の責任であることを、まず、社会全体で自覚をすることが大事です。子供の虐待防止のオレンジリボン憲章では、4つのことを目指しています。1つは、子供の命と心を守ろうということ、2つ目は、家族の子供の命と心を守ろうということ、3つ目は、里親と施設の子育てを支援しよう、それから4つ目は、地域の連帯を広げようということ、虐待のない社会を目指すというのが、オレンジリボンの考え方だそうです。

(4)いろいろな不適切な養育によって、子供たちはさまざまな問題を抱えやすいわけです。例えば、対人関係が難しい、感情のコントロールが難しい、連鎖による虐待を起こしやすい方もいらっしゃいます。パートナー、自分の夫や妻の愛し方がわからない、子供を愛せない、産みたくない、結婚したくないということで、不適切な養育によって、子供たちはさまざまな問題を抱えやすいそうです。社会が、自立援助ホーム、児童福祉施設を支援したり、里親をきつときつと増やしたり、専門的な治療施設が必要です。そういう施設を整備したり、社会でやることはたくさんあります。ぜひみんなに関心を持って、子供の人権の尊重のためにやれることはやった方がいいと思います。

3. おわりに

今日は、12月10日までの1週間が人権週間でありますので、子供の人権を中心にお話ししました。皆さんも、ぜひ、お考えいただければありがたいと思います。

以上

2008年8月20日加筆